

2024年度 2学年 各教科の学習計画（2学期）

	単元	目標	評価の観点	評価の対象
国語	≪小説≫ 盆土産 ≪短歌≫ 短歌に親しむ ≪論説文≫ モアイは語る ≪古文≫ 平家物語 徒然草 ≪文法≫ 形容詞・形容動詞 読書を楽しむ 手紙の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・間接的な描写から登場人物の心情や取り巻く状況を読み取る ・情景を表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 ・問題提起に着目し、論説文の展開を学ぶ。 ・鎌倉時代の古典文学の特徴に着目し、軍記物語を読む。 ・徒然草を通して古典文学に慣れ親しむ。 ・各品詞の特徴をつかむ。 ・夏休みに読んだ本をまとめ、紹介する。 ・場面に応じた手紙の書き方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心情を読み取るために、必要な情報を整理し、言動の意味を考え内容を解釈することができる。 ・短歌を鑑賞し、自分の考えを述べることができる。短歌を自分で作ることができる。 ・問題提起に着目しながら、因果関係を踏まえて内容を整理することができる。 ・平家物語に表れるものの見方、考え方を知り、古文の読解に役立てることができる。 ・古典文学を自分なりに訳し表現することができる。 ・活用形について理解し分類することができる。 ・読書レポートを見やすく作ることができる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、目的に応じて構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業プリント等の課題提出 ○暗唱テスト ○発表態度 ○教科書ワーク ○漢字テストのやり直し ○定期テスト
	(歴史的分野) 第4編 近世の日本と世界 第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化 近世から近代へ 近代国家へのあ み (地理的分野) 第3章 日本の諸地域 4 中部地方 5 関東地方 6 東北地方 7 北海道地方	(歴史的分野) <ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の全国支配の仕組みについて知る。 ・16世紀以降の欧米の市民革命について理解しアジアの植民地化へどのようにつながったのかを知る。 ・外国船の接近により、江戸幕府の崩壊につながっていく過程を知る。 ・明治維新によって、日本の近代化が行われたことを理解する。 (地理的分野) <ul style="list-style-type: none"> ・日本の各地方の地理的特色を理解する。 ・中部地方の産業的特色を理解する。 ・関東地方の交通や通信の特色を理解する。 ・東北地方の持続可能な社会づくりを理解する。 ・北海道地方の自然環境を理解する。 	(歴史的分野) <ul style="list-style-type: none"> ・欧米の発展とアジアの植民地化の流れとつながりを理解できる。 ・倒幕から日本の近代化への歩みを理解できる。 (地理的分野) <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組み、提出物やレポートなどをきちんと提出できる。 ・資料等を読みとり、日本の自然・気候・人口・産業・生活の様子等について考え、発表する。 ・中部地方・関東地方・東北地方・北海道地方の自然・産業・文化について、基本的な知識が身についている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・定期テスト ・小テスト ・レポート ・授業態度
数学	3章 1次関数 4章 図形の性質と合同 5章 三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> ・1次関数として捉えられる2つの数量について、グラフで表現することができる。 ・2元1次方程式を関数を表す式としてみることができる。 ・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し、表現することができる。 ・平行線や核の性質を理解する。 ・多角形の核についての性質を理解する。 ・基本的な平面図形の性質を説明することができるようにする。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解する。 ・照明の必要性和意味及びその方法について理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組み、提出物をきちんと提出できる。 ・1次関数のグラフ、表、式から捉えられる2つの数量について特徴を説明することができる。 ・2元1次方程式の解を、1次関数の特徴を用いて求めることができる。 ・平行線や角の性質を理解し、利用することができる。 ・平面図形の証明ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業への意欲と態度 ・単元レポートやワークの提出状況
	生物の体のつくりとはたらき 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 ささまざまな化学変化	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の葉や茎を、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解させる。 ・消化の呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解させる。また、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解させる。 ・物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだす。また、物質は原子や分子からできていることを理解する。 ・2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 ・動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 ・動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 ・物質の成り立ちについて、関する事柄や現象に関わり、見通しをもって科学的に探究することができる。 ・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、2種類の物質が結びつく化学変化や酸化、還元、化学変化と熱についての基本的な考え方や法則を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験レポート ・単元レポート ・ワーク ・定期テスト ・小テスト ・授業プリント

	単元	目 標	評価の観点	評価の対象
音 楽	<ul style="list-style-type: none"> 「心をつなぐ合唱を目指して」 「心の歌」 「オペラアイダ」 「いろいろな記号や音名」 	<ul style="list-style-type: none"> 他声部を感じながら、響きのある歌声で合唱しよう。 情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 オペラに親しみ、その音楽を味わおう。 いろいろな記号や音名を知ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の響きや各声部の声を聴きながら、他者と合わせて歌うことができる。 日本歌曲のよさや美しさを感じ取れている。 登場人物の気持ちがどのように表現されているか、感じ取ることができる。 オペラを通じて歌唱の様々な演奏形態を知るとともに、総合芸術であるオペラのよさや美しさを感じ取れている。 音楽表現のために必要な記号や音価について知り、知識としてだけでなく、必要に応じて使い分けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習態度 振り返りシート 各ワークシート 期末テスト 実技テスト
	<ul style="list-style-type: none"> 抽象形を使った平面構成 陶芸 	<ul style="list-style-type: none"> 直線や曲線を用いて抽象形をユニット内に構成する。 使う用途にそった形と柄を考え制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニットの抽象による統一感と変化がとられている。 配色の工夫により、制作者の意図が感じられる。 自分のイメージした形や柄が表現できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題作品 アイデアスケッチや作品の内容と取り組みが感じられる。 授業での取り組みや作品に対する姿勢 期末テスト 学習準備や提出物 作品の内容と取り組み方 作品レポート
保 健 体 育	<ul style="list-style-type: none"> 集団行動 ラジオ体操 	<ul style="list-style-type: none"> 集合・整列・方向変換・列の増減が指示に応じて素早くできる。 正しいラジオ体操・体づくり運動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい服装・態度で授業に参加している。 準備運動が正しく行える。 授業に積極的に参加している。 技術を習得している。 専門用語を覚えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業中の意欲、態度 服装、忘れ物 ノート整理 授業プリント 各ワークシート 準備、片付け 安全配慮 実技テスト 期末テスト
	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技(走り幅跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ) 器械運動(マットor跳び箱) 球技(バスケットボール) 保健 健康な生活と病気の予防② 傷害の防止 	<ul style="list-style-type: none"> 自己目標を設定し、自己ベストの更新のために自主的・自発的に取り組む。 正しい技能を身につける。 意欲的に取り組む。 チームで協力しあう。 各種目の目標を達成する。 グループで活動し、計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容に興味を持ち、積極的に取り組める。 板書内容を記録し、ノート整理がきちんとできる。 基本的事項を覚える。 	
技 術	エネルギー変換に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換の技術を知る。 便利な生活を考え直す。 環境問題を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換について理解する。 電気機器の保全ができる。 道具を適切に操作し製品を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 定期テスト 提出物 延長コード ラジオ
家 庭	食生活と栄養	<ul style="list-style-type: none"> 食品が口に入るまでの流れを理解し、食品購入時の留意点を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生産から消費までの流れを理解し、感謝の気持ちをもって、食と向き合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度 ワーク、プリントなどの提出物 期末テスト
英 語	<ul style="list-style-type: none"> Tour in New York City Earthquake Drill Work Experience Daily Life3~6 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の本文の読み方、意味、内容を理解する。 英語で読まれた情報を正しく聞き取る。 学習した本文を強弱をつけて読むことができる。 Thereis (are) 構文、不定詞、助動詞have to, must, shouldそれぞれの用法を理解し、聞き取ったり、英文で表現したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文を正しく読む事が出来る。 教科書本文を手掛かりを用いて正しく日本語から英語に出来る。 教科書本文を手掛かりを用いて正しく英語から日本語に出来る。 学習した文法を理解し、それらを用いて英語で表現することができる。 英語を聞き取り、問題に正しく解答することができる。 授業の中で積極的に英語を読む練習をし、キーワードとなる文法を使って、伝えたいことを表現することができる。 本文の英語を正しく音読し、ペアで活動することができる。 発問に対し、的確にこたえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観点1 定期テスト(単語・熟語、文の組み立てなど)、単元テスト、小テスト、発表など 観点2 定期テスト(英作文、リスニング、長文読解など)、単元テスト、小テスト、発表など 観点3 宿題、夏休みの課題、ノート、ワーク 小テスト ロイロノートの提出 授業中の発言、発表など